2022年度 中京大学チャレンジ奨励金　最終報告書

2023年　　2月　　13日

学部・学年　　国際学部三年

学籍番号

氏名　　濱川優希

1．プロジェクト名

グローバルな真剣味の実践－剣道による国際交流－

2．活動期間

2022年　7月　15日　　～　　2023年　　3月　　5日

3．主な活動場所

体育館アリーナ

4．参加者　　13　名（「7.参加者名簿」に参加者氏名等を入力してください）

5．予算・使用経費等（足りない場合は各自で列を足してください）

費目	品名・内容	予算金額	執行金額
消耗品費	剣道着・袴一式（留学生5名、日本人初心者1名）	60,000 円	79,200 円
同上	竹刀一式（留学生 5 名、日本人初心者 1 名）	50,000 円	34,470 円
同上	防具・面※	150,000 円	39,600 円
同上	防具・甲手※	200,000 円	134,100 円
同上	防具・胴※	150,000 円	34,100 円
同上	防具・垂※	72,000 円	20,000 円
同上	防具袋・竹刀袋・面手ぬぐい・鍔・鍔どめなど小物一式※	36,000 円	8,000 円
同上	垂ネーム※	50,000 円	10,000 円
同上	試合用品	-	10,725 円
同上	フェイスシールド（剣道用）	-	4,400 円
保険加入料	傷害保険	30,000 円	0 円
施設使用料	学外体育館・愛知県武道館利用料	23,000 円	0 円
その他	試合エントリー費用（留学生１名含む７名）	30,000 円	3,500 円
	留学生の剣道連盟加入料	27,500 円	0 円
	合計	878,500 円	378,095 円

※防具・垂・小物一式は試合参加者2名分（留学生1，初心者1)。甲手のみ指導者4名分も併せて購入。

６．プロジェクトの活動報告

◆プロジェクトにおける活動内容と目標

＜活動内容＞
留学生と日本人学生による剣道を通じた国際交流
＜目標＞
中京大学に学びにきている留学生と日本古来の武道である剣道を通じて交流を深め、留学生に日本の文化をより深く理解し、体験してもらう。とくに、日本が世界に誇れる精神文化である、礼法、作法の精神を体得してもらう。
わたしたち（日本の学生）も、剣道交流を通じて留学生から外国文化や、英語を含む外国語を学ぶ。

◆中間報告時に抱えていた課題への対応結果

＜中間報告時に抱えていた課題＞
私は、プロジェクトの準備段階から、留学生の募集、留学生との連絡、留学生の剣道用品の手配、開始前の座学など、プロジェクトの基礎を担う重要な役割を果たしてきたと自認しているが、中盤より、従来から所属してきた体育会クラブの主将に抜擢されたり、学生連盟の副委員長に抜擢された関係で、その稽古に一層専念しなければならなくなり、実技の稽古には参加できない状況となり、その役割は、他の参加者の協力に頼らざるを得ない状況になった。
＜対応結果＞
　もともとこのプロジェクトは、有志により集まった剣道稽古会が母体であり、私自身はその初期メンバーであったところ、このプロジェクトが企画される前からメンバーも増加し、国際交流のアイデアがこの稽古会より生まれたこともあって、当初より、メンバー全員でプロジェクトを支える趣旨があった。このため、上記の予想できなかった困難な状況については、「チームワークをつくる」という中京大学の建学の精神のもとに乗り越えることができた。具体的に、他のメンバーが、より一層、稽古に参加、協力することで、私が実技稽古できない部分をフォローしてくれた。

◆プロジェクトの目標達成状況（活動内容等を具体的に記入してください）

＜達成状況＞
　剣道は、稽古によって、自分自身の心と体を鍛えていくことに意味があり、稽古そのものの実践が最も重要な価値をなす。競技（試合）はその目的ではなく、試合は、自分の鍛えた心を試し、その心をもって鍛えた技を試すことで、さらに稽古のための課題を探ることに大きな意味がある。
　試合に勝つものが称賛されるのではなく、たゆむことなく稽古を継続し、心の鍛錬を踏まえた人間形成を追い求める者が称賛される。
これが、武道の精神文化であり、留学生に伝えるべき、日本の文化である。
　この観点より、9 月より 1 月末まで、平均週 1 回のペースで稽古を休むことなく続けるとともに、この精神文化を外国語などで伝える活動を行った。
　留学生参加者は、正規留学生２名、短期留学生 3 名（途中正規留学生１名辞退）であったが、留学生は、ほぼ稽古に休まず、毎回参加した。このような稽古への参加態度は、ある程度、剣道、武道の精神論が、理解されたゆえのことであると考える。
　短期留学生 3 名は、1 月のプロジェクト終了後、帰国したが、帰国の際、剣道という文化に触れられたことは、人生のなかで、とても素晴らしい出来事になったと言ってくれた。とくに、侍という認識のもとに剣道には興味を持つ者も多いが、いざ、それを経験できるかと言えば、道具（防具）の問題が、これが大きな障害になるが、このプロジェクトのおかげで、その障害が取り払われ、彼ら、彼女らに、貴重な日本での、また、中京大学での体験を得させてあげられたことは、このプロジェクトならではの成果である。

自己評価による達成度：　75%

◆改善点、やり残したこと

コロナの影響があり、食事会の開催など、剣道の稽古の場以外での交流が制約されてしまったため、そのような場面も含めて、十分に交流が深められたとは言えない。個人的には、実技稽古になかなか参加できなかったことが、悔やまれる。

◆今回のプロジェクトを実施したことにより、どのような気付きを得たか

まず、ひとつのこと（プロジェクト）をやりきることが、これほどまでに大変であるということに気づかされた。剣道を通じた国際交流、口にいうは易しであるが、いざ、そのアイデア、プロジェクトを実践するとなると、困難しかそこにはなかった。とくに、今回、プロジェクト企画時には想定もしていなかった所属クラブでの主将抜擢、学生連盟の副委員長抜擢という大きな問題があり、プロジェクトの遂行に困難が生じた。ただ、このようなことは、世の中ざらにあることで、その中に、何ができるのか、これを考えながら行動することの大切さを、身をもって気づくことができた。狙って得た気づきではないが、結果的に、良い経験になった。どうすれば、プロジェクトをやり切れるのか、という観点から、現状の自分でもできる役割を見つけ出し、プロジェクトの土台を支える裏方の事務作業を継続することができた。プロジェクト自体には、大きな貢献ではなかったかもしれないが、今の自分ができる精一杯で取り組むことができた。
それと同時に、仲間の大切さ、チームワークの大切さに気付くことができた。

◆今後チャレンジしていきたいこと
（例えば、成果の活用・利用について、次回のプロジェクト活動に向けての抱負、卒業してからの展望等、自由に記入してください）

イタリア人の留学生が英語をネイティブのように話す姿を見て、自身の課題を発見し、また、これからの頑張りにつなげたいとの気持ちも大きくわいた。

また、本プロジェクトはここで終了となるが、任意に留学生を募集し、今回得た経験と課題をもとに、引き続き、剣道の稽古を通じた国際交流をつづけていく予定である。

なお、本プロジェクトにより消耗品費で購入した防具セット＜面、甲手、胴、垂れのセット購入分＞2 組分（試合に参加する学生であることを条件に購入を認められた防具セット）の使用・保管については、学生支援課と調整し、本プロジェクトを継続するメンバーが卒業するまで、今後の練習参加を可能とする目的に使用し、学生支援課が指定する場所（体育館器具庫を予定）に保管することになった。その際継続使用により再利用が難しくなった防具の処分については、都度学生支援課で判断することになった。

◆実施結果（成果）
※必要に応じて写真・現物添付可。枠欄が足りなければ、追加してご記入ください。

（1）座学の内容　（一例）
剣道とは

剣術と剣道は違う。
There is difference between the KENJYUTU and KENDO.

剣術は、人を殺す方法である。
KENJYUTYU （ In other words Swordsmanship） is method of killing people.

剣道は、人間形成を目的とした、道である。
KENDO is a way that aims at character formation.

剣道は、稽古によって、自分自身を鍛えるものである。とくに、心を鍛えるものである。
Kendo is about training yourself through practice.

したがって、剣道における相手とは、敵ではなく、自分自身である。
Therefore, in KENDO, your opponent is not your enemy, but yourself.
Your opponent is yourself.

剣道において、相手に勝つことは目的ではない。
In KENDO, winningover the opponent is not goal.
その目的は、稽古によって、自分自身を克服すること（自分自身に勝つこと）である。
That purpose is to comeover yourself through practice.

礼法について

日本では礼節を重んじる。
Courtesy or good manners is highly valued in Japanese culture.

とりわけ、武道、剣道の世界では、この価値は、重要とされる。
Especially, in community of KENDO, Good manners is highly valued.

礼節は、「礼」 と呼ばれる。
Good manners is called REI.

剣道は、礼に始まり、礼におわる、といわれる。
People often say, Kendo is Beginning with REI and ending with REI.

礼は、相手に対する敬意、感謝の気持ちであり、同時に、正しさを表す。
Rei is a feeling of respect and gratitude towards the other person, and at the same

time, it expresses rightness.

わたしたちは、道場に入るときも、相手と向き合ったときも、礼をする。
We do REI when we enter the dojo (here) and when we face each other in KEIKO.

道場は、剣道による人間形成の場である。その場にわたしたちは敬意を払う必要がある。
The dojo (here) is a place for character formation through kendo. We have to respect that place.

相手も、わたしたちの人間形成を助けてくれるから、相手に敬意を払う必要がある。
The partners of KENDO also helps our character formation, so we need to respect them.

人を殺す刀を持つ以上、わたしたちは、正しくなければならない。
As long as you have a sword that kills people, you have to be right.

正しさの象徴である礼を通じて、わたしたちは、常に正しくあろうとしなければならない。
We must always try to be right through REI , the symbol of rightness.

(2) 実技活動

100%Sweets TOKYO

CHUKYO
UNIVERSITY
南桑
土岐
中京大
小河原

UMEMURA

有効打突
Valid attack
気 Spirit
剣 Swing
体 Posture
harmonize
Coincident
一致

UMEMURA
Educational Institution